

## 「5 週間パーキンソン病意欲高揚エクササイズ」における入院調整の現状と課題

脇坂裕子<sup>#1</sup> 松浦 美恵子<sup>#2</sup> 枝川和代<sup>#2</sup> 福原清二<sup>#1</sup> 津川靖弘<sup>#1</sup> 佐藤由美<sup>#1</sup>  
堤聡<sup>#3</sup> 高原実香<sup>#3</sup> 武内俊明<sup>#3</sup> 谷口浩一郎<sup>#3</sup> 有井敬治<sup>#3</sup> 三ツ井貴夫<sup>#3</sup>

#1 独立行政法人 国立病院機構 徳島病院 地域医療連携室 776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地 1354 番地

#2 独立行政法人 国立病院機構 徳島病院 臨床研究部 776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地 1354 番地

#3 独立行政法人 国立病院機構 徳島病院 脳神経内科 776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地 1354 番地

受付 2024. 3. 7 受理 2024. 3. 8 出版受託 2024. 3. 11

### 要旨

徳島病院では、平成21年度より、パーキンソン病患者に対して入院リハビリテーションを提供し、令和6年初頭までに964名が入院している。現在では入院希望者が多く約1年先まで入院予約が埋まっている。一方、入院キャンセルも多く、地域医療連携室入では入院調整に困難を来している。入院キャンセルが多いことは、患者、病院双方に不利益を生じるため、対策の検討に繋がるように入院調整の現状と課題を調査した。その結果、入院予約した患者の62.0%がキャンセルしており、その最大の要因として考えられることが、予約から入院までの待機時間が長いことが考えられる。また、同病院へ通院していない患者ではキャンセル率が高いため、患者への緊密な連絡により、患者の状況把握や信頼関係の構築を行うとともに、入院までの待機期間を短縮できるよう対策を行う必要がある。

**キーワード：**入院調整、入院リハビリテーション

### はじめに

徳島病院では平成 21 年度より、パーキンソン病患者に対して独自のプログラムによる入院リハビリテーション「5 週間パーキンソン病意欲高揚エクササイズ入院」（以下、「5w リハ入院」）を開始し、令和 6 年初頭までに延べ 964 名が入院した。5w リハ入院は開設 3 年後からは入院予約が 1-1.5 年先まで埋まっている状況にあるが、入院のキャンセルも継続的に発生している。本研究では地域医療連携室が担っている最近の入院調整の状況を調査し課題を検討した。

### 対象と方法

対象は、平成 21 年 4 月から令和 6 年 1 月までに入院した延べ 964 名と、令和 2 年 4 月から令和 6 年 1 月までに 5w リハ入院を受けた患者。

入院した患者に関しては、その概要を調査し、キャンセルした患者に関しては、キャンセルの推移、予約キャンセル患者と入院患者のプロフィール、予約キャンセル患者の特徴、キャンセル理由を調査した。

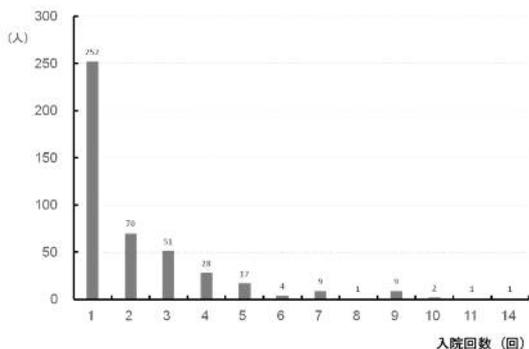
### 結果

5w リハ入院患者の概要として、平成 21 年 4 月から令和 6 年 1 月の 146 期までに、延べ 964 名が入院している。男女比に大きな差はなく、平均年齢は 73.2 歳であり、徳島県外からの患者が入院総数の約 4 割を占めている。患者毎の入院経験回数は、1 回のみが 252 名と最も多く、入院経験最多回数は 14 回であった。（表 1、2）

表1 5Wリハ入院患者の要約

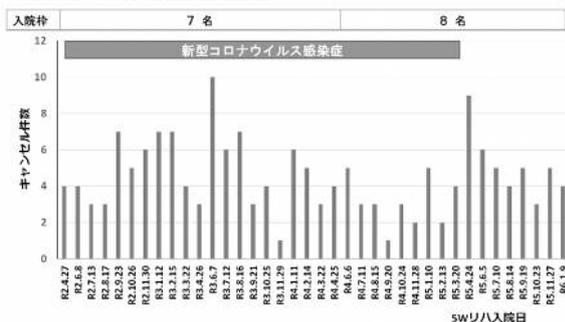
期 間	平成21年4月(1期)ー令和6年1月(146期)
総 数(実人数)	964名(445名)
男・女(実人数)	468名・496名(202名・243名)
年 齢(mean±SD)	73.2歳±8.5
徳島県内・外(実人数)	582名・382名(257名・188名)

表2 5Wリハ入院患者の入院(リビート)回数



令和2年4月より令和6年1月までの各入院期間のキャンセル数の推移をみると、最多は令和2年6月であり、7名の入院枠に対し10件がキャンセルとなっている。(表3)

表3 5Wリハ入院キャンセル数の推移



また、同期間の5w入院患者は265名であるのに対し、その期間の入院をキャンセルした患者は171名と、入院予約枠276名の62.0%がキャンセルしたことになる。男女比や年齢、罹病期間も大差は見られないが、予約から入院までの期間が、キャンセル患者が10.02か月、入院患者が4.77か月となっている。(表4) これはキャンセル待ちの

表4 予約キャンセル患者と入院患者のプロフィール (令和2年4月27日~令和6年1月9日)

	キャンセル患者	入院患者
総 数(実人数)	171名(121名)	265名(112名)
男・女(実人数)	78名・93名 (56名・65名)	137名・128名 (55名・57名)
年 齢(歳)*	71.20±9.26	73.29±8.50
予約から入院までの期間(月)*	10.02±4.64	4.77±5.52 ★
罹病期間(年)*	9.06±6.47	6.79±4.99

\* mean±SD

★ P<0.01

手続きをしていた患者が予約より早く入院したためと考えられる。入院キャンセル患者の内訳での大きな違いとしては、外来通院患者がキャンセル患者で少なくなっている。(表5) キャンセル理由として最も多いのは新型コロナウイルス感染症関連で、家族・本人の都合やパーキンソン病の悪化がこれに続く。(表6) 患者毎のキャンセル回数は、1回のみの患者が最も多いが、6回キャンセルを行った患者がいた。(表7)

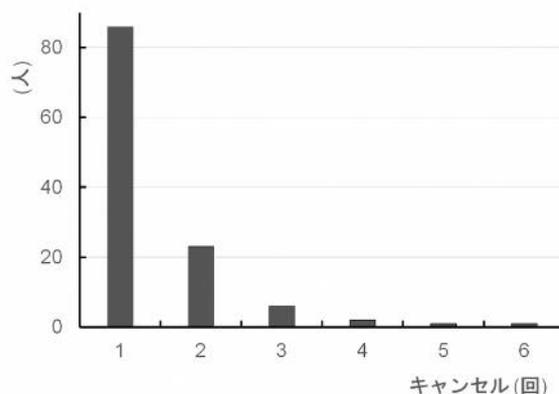
表5 予約キャンセル患者の内訳(令和2年4月27日~令和6年1月9日)

	キャンセル患者	入院患者
総 数	171名	265名
外来受診歴	153名 (89.4%)	255名 (96.2%)
外来通院患者	82名 (48.0%)	199名 (75.1%)
外来リハ患者	47名 (27.5%)	98名 (37.0%)
キャンセル後の通院	70名 (41.0%)	
キャンセル後の5W入院	37名 (21.6%)	

表6 予約キャンセルの理由

	件 数
パーキンソン病の悪化	17
合併症	11
併発症	12
入院意欲の低下	
必要性を感じない	14
不安感	8
他院で治療	
DBS	1
リハビリテーション	13
新型コロナウイルス感染症関連	33
家族/本人の仕事の都合	30
死亡、その他	5

表7 患者毎のキャンセル回数



## 考察

最近 4 年間の 5w リハ入院は予約枠の 62.0%と半数以上がキャンセルされており、キャンセルは外来通院患者には比較的少なく、予約から入院までの期間が長い方がキャンセルが増える傾向にあった。新型コロナウイルス感染症関連以外の全ての入院キャンセルの理由は、家族/本人の都合やパーキンソン病の悪化等であり、予約から入院までの期間が長いことが関係していると考えられる。パーキンソン病患者に対する入院リハビリテーションは、運動機能の改善や患者同士の連帯感により前向きにリハビリテーションに取り組む推進力となるため<sup>1)</sup>、予約から入院までの期間が長いために入院キャンセルとなることは、病院だけでなく、患者にとっても不利益となると考えられる。入院調整にあたる地域医療連携室としては、更に入院までの期間の短縮に努めるとともに、緊密な連絡を通して、患者の状況把握と信頼関係の確立に努めていく必要がある。

## 引用文献

- 1) 有井敬治ほか： Parkinson 病に対する新しいリハビリテーション - Mentality-orientated Rehabilitation の提唱. BRAIN and NERVE 2011; 63 巻 8 号: 878-883